

平成 27 年 5 月 19 日

各 位

会 社 名 アキュセラ・インク (Acucela Inc.)
代表者の役職・氏名 会長、社長兼最高経営責任者
窪田 良
(コード番号 4589 東証マザーズ)
問 合 せ 先 アキュセラ・インク (Acucela Inc.)
日本事務所 ディレクター 須賀川 朋美
(TEL : 03-5789-5872 (代表))
代理人の ベーカー&マッケンジー法律事務所
住所・氏名 (外国法共同事業)
弁護士 高橋 謙
(TEL : 03-6271-9900)

新任社外取締役候補者の選任および社外取締役の退任に関するお知らせ

シアトル市 (2015 年 5 月 18 日 (米国西海岸時間)) – 世界中で数百万人が罹患している視力を脅かす眼疾患の進行を遅らせることにより治療を目指す革新的な治療薬の探索および開発に取り組んでいる、臨床開発段階のバイオ製薬企業であるアキュセラ・インク (以下「当社」といいます。) は、2015 年 5 月 18 日 (米国西海岸時間) の取締役会において、下記のとおり新任社外取締役候補者 1 名の選任に関して決議いたしました。新任社外取締役は、2015 年 年 6 月 25 日 (米国西海岸時間) 開催の当社定時株主総会の承認決議をもって正式に就任する予定であります。また、当社の附属定款上、2015 年 5 月 1 日 (米国西海岸時間) の当社臨時株主総会において選任された現行取締役の任期は、定時株主総会までとなっております。今回の新任社外取締役の選任に関する決議を受けて、当社は下記 1 名の現行社外取締役を、2015 年 6 月 25 日 (米国西海岸時間) 開催の当社定時株主総会の候補者に含まないことを決定いたしました。

記

1 : 新任社外取締役候補者

氏名 : 浅子 信太郎氏

略歴 : 浅子信太郎氏 (40 歳) は、東京を拠点としモバイル・インターネット・サービスを提供するグローバルリーダーである DeNA の米国関連会社である DeNA West の最高経営責任者です。2013 年に最高経営責任者に就任するまでは、同氏は DeNA West の最高財務責任者を務め、それまではナスダ

ック・グローバル・マーケットおよび東京証券取引所の JASDAQ 市場に上場するバイオ製薬企業であるメディシノバ・インクの最高財務責任者を務めていました。1998 年から 2005 年まで、同氏は KPMG LLP およびアーサー・アンダーセン LLP の様々な役職を務め、監査、税務および事業コンサルティングサービスを多国籍の顧客に提供してきました。浅子氏は、南カリフォルニア大学の Leventhal School of Accounting を卒業しています。

2：退任予定社外取締役

氏名：北尾 吉孝氏

略歴：1999 年から現在まで、SBI ホールディングス株式会社の最高経営責任者を務めています。1995 年から 2005 年まで、ソフトバンク株式会社において最高財務責任者を務めました。また、同氏は 2005 年 4 月から 2013 年 9 月まで当社の取締役を務め、2015 年 5 月 1 日より再び当社の取締役を務めています。

3：選任および退任の理由

浅子氏は、日米両国で上場を果たした米国のバイオ製薬企業の最高財務責任者を務めたこともあり、上場会社における執行役員としての経験を含め、長年におよぶ財務および会計の経験を有しております。浅子氏は、米国企業でかつ東京証券取引所マザーズ市場に単独上場している当社にとって、適任であると考えています。

当社の大株主でもあり SBI ホールディングス株式会社の最高経営責任者を務める北尾氏は、2015 年 5 月 1 日（米国西海岸時間）の臨時株主総会にて新任取締役 5 名のうちの 1 人として就任いたしました。同日、北尾氏を含む取締役会は、窪田良氏を当社の社長兼最高経営責任者に選任し、その他ヘルスケア、ライフサイエンスおよびテクノロジー業界において長年の経験を有する役員 3 名を選任いたしました。

北尾氏は、当社が眼科疾患治療の開発を推進するグローバルなバイオ企業として成長していくために、役員体制の変更が不可欠であるとの考えに基づき、当社の社外取締役に就任いたしました。当社は、現在新たな役員体制のもとで成長の土台が整ったことを確認し、同時に、浅子氏が当社の社外取締役として適任であるとの判断をいたしましたため、浅子氏の選任をもって北尾氏が退任することとなりました。

4：異動予定日

2015 年 6 月 25 日（米国西海岸時間）

以 上

アキュセラ・インク (Acucela Inc.) について

アキュセラ・インク（日本語サイト：www.acucela.jp）は、世界中で数百万人が罹患している視力を脅かす眼疾患の進行を遅らせることにより治療を目指す革新的な治療薬の探索および開発に取り組んでいる、臨床開発段階のバイオ製薬企業です。当社と大塚製薬株式会社は、現在、当社が独自に創製した視覚サイクルモジュレーションに基づく地図状萎縮を伴うドライ型加齢黄斑変性の治療薬「エミクスタト塩酸塩」および高眼圧症または開放隅角緑内障に対する治療薬「OPA-6566」の共同開発契約を有しております。

免責事項

本資料は関係情報の開示のみを目的として作成されたものであり、有価証券の取得または売付けの勧誘または申込みを構成するものではありません。本資料は、正確性を期すべく慎重に作成されていますが、完全性を保証するものではありません。また本資料の作成にあたり、当社に入手可能な第三者情報に依拠しておりますが、かかる第三者情報の実際の正確性および完全性について、当社が表明・保証するものではありません。当社は、本資料の記述に依拠したことにより生じる損害について一切の責任を負いません。

また本資料の情報は、事前の通知なく変更される可能性があります。

本資料には将来予想に関する見通し情報が含まれます。これらの記述は、現在の見込、予測およびリスクを伴う想定（一般的な経済状況および業界または市場の状況を含みますがこれらに限定されません）に基づいており、実際の業績とは大きく異なる可能性があります。今後、新たな情報、将来の事象の発生またはその他いかなる理由があっても、当社は本資料の将来に関する記述を更新または修正する義務を負うものではありません。